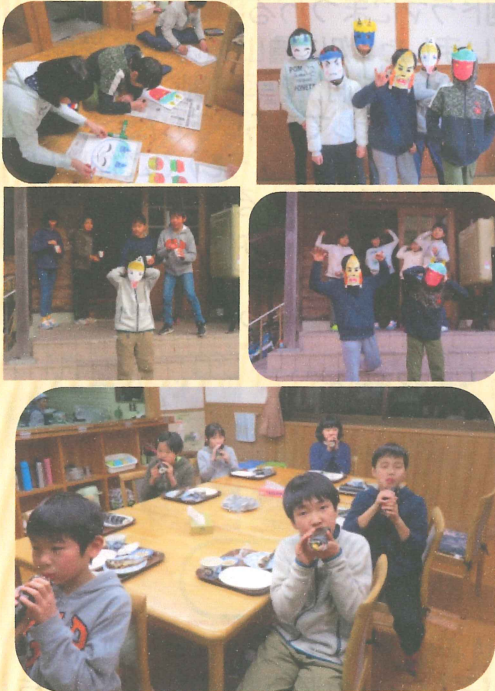


節分



2月3日、今日は節分。子供達は「豆をまく(食べる)日」「恵方巻を食べる日」と思っている事でしょう。しかし本来節分とは二十四節気と呼ばれる暦の季節の変わり目「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と言う節気の前日を指すものでした。なぜ「立春」の前日だけを節分と呼ぶようになったかと言うと、その日が旧暦の大晦日(12月31日)で翌日に新年を迎え、冬の季節から春の季節に変わる節を分ける日のため節分と呼ばれるようになったようです。では、なぜ節分に豆まきをするのでしょうか？節分の日と言えば「鬼は外、福は内」と言う掛け声とともに鬼の面をかぶった人目がけて豆をまくのが当たり前のようになっていますが、その由来は中国から伝わった風習の「鬼はらい」「鬼はしり」「厄払い」「厄おとし」など、昔は疫病や災厄は鬼の仕業とされていたので、新年を迎える前に邪を払いましょうという考えから始まった儀式のようです。しかし子供達はそんなことには無関係のようで、前日に作った鬼の面をかぶったトア鬼・ハルト鬼・テツマ鬼に向けて豆の全力投球で盛り上がっていました。そして夜には寮母さんに焼いたイワシと太巻き寿司を作ってもらって今年の恵方「西南西」を向いてひたすら無言で「むしゃむしゃ」してました。

雪降りました

2月6日、子供たちが待ちに待った雪が降りました。それも前日から降り出した雪が一晩中降り続き、翌朝にはなんと30cm近く積もったのです。センター号が埋もれてしまいそうな大雪なのです。暖冬の影響で今年の雪遊びをすっかりあきらめていた子供たちも、このサプライズな光景にビックリするやら、うれしいやら…。とにかく目の前に夢のような景色が広がっていました。子供たちは1秒でも早く雪遊びをしたい気持ちをグッとこらえて学校へ向かいました。



冬の体験留学



2月8・9日の土日、センターでは毎年恒例の冬の体験留学が開催されました。今年の参加者は男子4名女子4名の8名で、そのうち6名が来年度長期留学を希望して、冬の体験留学終了後の面接を受けてくれます。面接を受ける子供たちは全員週末体験やセンターの見学を経験していて、現役山留生たちとも顔見知りです。リラックスした雰囲気で開催式にのぞめました。今回の冬の体験は暖冬の影響で、数日前まで雪のない活動を覚悟していましたが、前々日から降り出した雪のおかげで雪合戦やリノ滑り、班対抗の雪像作りで思いっきり楽しめた様子です。そして夜には打ち上げ花火も見ることが出来て大興奮でした。体験に参加してくれた子供たちは、どの子も「ご飯が美味しい」と、何度も何度もお代わりをしていました。山留生たちともすっかり打ち解けて、楽しい思い出になったようです。一人でも多くの子供が美山に来てくれることを、センター一同願っています。

バレンタインのチョコ作り



2月11日、今年もこの日がやって来ました。早いもので今週の金曜日はセントバレンタインデーです。女の子たちは数日前から寮母さんに今年作りたいチョコレートの打合せをして、材料や容器などをそろえてもらいました。ナナコが所用のため不在となり、シオンとユメの2人が千代野母さんと眞壁先生の指導の下チョコ作りにチャレンジすることになりました。お昼ご飯を食べ終わりさっそく厨房へ、危なっかしい手つきでチョコを溶かしたり、容器に流し込んだり、飾りつけをしたり。それでも一生懸命アイデア満載のお菓子作りに取り組んでいました。そして完成したチョコなどをラッピングして15日の土曜日にお友達の家に配りに行きました。センターの男の子や私も頂きました。🍫

下区・歴史探訪ツアー

2月16日、朝からあいにくの雨模様の中、下区の歴史探訪ツアーに参加させて頂きました。内容は「麒麟がくる、京都大河ドラマ館見学ツアー」です。8:50に下の公民館に集合、地域の皆さんと一緒にマイクロバスに乗り込みました。最初に訪れたのは亀岡に新しく出来た「京都スタジアム」の中にある京都大河ドラマ館です。大河ドラマにまつわる甲冑など色々な物が展示されていました。次に亀山城跡を見学して、森のステーション(チョロギ村)で薬膳御膳を食べた後、村長さんに村の説明をしてもらいました。その後光秀の首塚がある谷性寺(こくしょうじ)でご住職にお話を頂き、明智光秀に係わる歴史探訪ツアーは終了し、下の公民館前で解散となりました。子供たちは福知山城見学に続き今日のツアーで、光秀に対する知識が頭の中にぎっしり詰まったようです。



6年生を送る会



2月22日、今日の土曜活用は6年生を送る会です。体育館の壁が様々なモニュメントで飾られた中、6年生入場の後実行委員長さんの初めの言葉に続き各学年の歌や卒業生の名前を使った言葉遊び等、笑顔や笑いの中にも6年生に対する感謝の気持ちが伝わる心のこもった発表となり、プレゼント渡しの後の6年生の発表では涙ぐむ保護者の方もおられました。最後のくす玉割りも無事に済み、5年生で作られた花道を通り抜けていく6年生、その胸にはこの一年間の出来事がよみがえって来たことでしょう。

お母さんの一人言

寒かったり暖かったりと不順な天候ですが、二月に入り思いがけずまとまった雪が降り、子供達は大喜び。あと一ヶ月余りでセンター生活も終わりとなりましたが、よい思い出のページとなったと思います。

退所旅行

2月24日、連日テレビや新聞で報じられている新型コロナウイルス。その報道が子供たちの退所旅行にも影響を与えることになりました。例年3月上旬に行く退所旅行ですが、卒業旅行の人々で込み合う前にと急遽宮津方面に行って来ました。近年ワンデーマーチ完歩のご褒美に行っている宮津ロイヤルホテルのお昼のバイキング(この日は期間限定いちごのデザートでした)で昼食をすませ、日本三景の天橋立へ。飛竜観展望・股のぞき・遊園地があるビューランドまでの上り下りはリフトを使用しました。下りのリフトから見る橋立・宮津湾は絶景でした。遊園地で乗り物で遊び、お土産を買って帰って来ました。ちょっと残念な退所旅行となりましたが、よい思い出になったと思います。

